

社会科学習指導案

[単元の構成]

日 時：平成23年2月17日（木） 6校時
 児 童：6年1組 男20名 女14名 計34名
 授業者：田島 吉晃

[単元名]

戦争から平和の歩みを見直そう
 ～戦争と人々の暮らし～

[授業について]

本実践では、中国との戦いから広がっていった15年戦争について取り扱う。当時の時代背景や国民生活に関心を持ち、単元を通して、戦争の悲惨さを実感的に理解し、2度と戦争をしないという見方や考え方を子どもたちに育てたいと考える。

昔は、家族や地域にいた戦争体験者によって15年戦争を次世代に継承することができた。しかし、戦後から時を経て、子どもたちの祖父母であっても、戦後生まれの方が多数になり、戦争体験を身近で聞くことが難しくなっている。

そこで、地域の戦争体験者の方に、戦時中の体験を語っていただく時間を設定した。教科書や資料集での調べ学習だけではなく、当時の食生活や学校生活や空襲への備えなど、実際のお話を聞くことで、当時の暮らしのイメージを膨らませることができると考えた。

本時では、当時の国策「産めよ増やせよ、国のため」に焦点をあてる。時代背景に着目しながら、その政策の意図を探っていく。

また、「子どもは国の宝」とはどういうことなのか…？全国各地で開催されていた、「赤ちゃんコンクール」に参加している母親の笑顔の意味とは…？子どもたちの心情を揺さぶり、戦争体験者から親としての立場を話していただく場面を設定しながら、戦争について考えを深めていきたい。

[単元の目標]

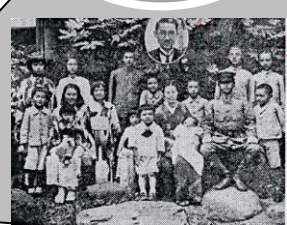
- 近隣諸国との戦争とその被害の様子、戦時中の国民生活に関心をもっている。 【関心・意欲・態度】
- 戦争と日本国民の暮らしの関連を考え、適切に判断している。 【思考・判断】
- 祖父母や地域の戦争体験者への聞き取り調査や資料から、戦時中の国民生活について調べている。 【技能・表現】
- 我が国が戦時体制に移行し、近隣諸国に大きな被害を与え、また、国民が大きな被害を受けたことがわかっている。 【知識・理解】

ユニ ツト 1	15年戦争は、どんな戦争だったのだろうか？ 近隣諸国・日本 中国との戦争から始まって、だんだん広がった。 日本でも地上戦や空襲があった…原爆は知ってるよ。 ① ② 近隣諸国や日本に多大な影響を与え、大きな被害がでた戦争だったんだね。
ユニ ツト 2 ③ ④ ⑤ (本時)	戦時中は、どんな暮らしだったのだろうか？ 統制 隣組・赤紙・配給切符などがあって、たいへんそうだよ… 疎開や訓練、工場で働いていたみたいだよ。 ④ 国民は、苦しい生活をしていたんだね。 ⑤ 祖父母から戦時中の様子を聞いてみよう 実際の厳しい暮らし 実際に食べ物もなく、芋を食べていた…空腹だった。 学校でも、戦争にかかわる授業があり、戦争ごっこ等していた 自分たちの祖父母も、食べ物や暮らしが本当に厳しいものだったんだ。 厳しい生活なのに、赤ちゃんを増やそう…！？ 戦力・労働力の確保 少しでも戦力を増やそうとしていたんだよ！ 労働力も必要とされていたから、働かせるためにじゃない？ 厳しい暮らしの中でも、戦争のために、未来の戦力や労働力を確保しようとしたんだね。
ユニ ツト 3 ⑥ ⑦	戦後は、どんな暮らしだったのだろうか？ 青空教室やそまつな小屋で生活したよだね。 自分たちの校区の自衛隊にも関係がありそうだ… ⑦ 自分たちの地域にも、戦争の足跡があるんだね。

<本時の目標>

当時の苦しい生活の中でも、国が「産めよ殖やせよ」政策により人口を増やそうとしていた事実から、戦争の長期化を見据え、未来の戦力や労働力を増やしていたことについて考える。

<本時の展開>

子どもの意識と主な学習活動	教師のかかわり
<p>(前時まで) 中国との戦争の広がり経過・影響について調べている。また、聞き取り調査等から、当時の人々の厳しい暮らしを学習している。</p>	<p>●国民の暮らしを確認することで、一人一人の生活の厳しさを膨らませていく。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>食料の配給制 戦争の被害の増加 衣類などの配給制 子どもも工場で働く</p> </div> <div style="width: 40%; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>国民</p> <p>食べ物がないと嫌だ！ 戦死者も増え、悲しいよ… 今みたいに自由な生活ができない 一人でも生きていくのが大変！</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>たくさん子どもを 産みましょう！増やしましょう！ 赤ちゃんコンクールを 全国各地で開催します！</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>国『子どもは国の宝！』</p> <p>生活が大変なのに、 子どもなんて育てられないよ！</p> </div>	<p>●国の「産めよ殖やせよ」政策を提示し、「赤ちゃんコンクール」によって、多産を推進していた事実から、問題意識を生んでいく。</p> <p>●国の「戦力を増やす」「労働力を増やす」という政策の意図を分類整理していく。</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">国民は生活が大変なのに、どうして子どもを増やそうとしたの？</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>戦力として</p> <p>強い人間を育てる 一人でも兵士を増やす 軍隊に入れるため</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>国民は… 国のために 勝つために</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>労働力として</p> <p>畑を耕す 食料を増やす また健康な赤ちゃんを生む</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>たくさん生むことが 名誉だったんだ！</p> <p>お母さんたちも、笑顔だよ！</p> <p>結局は戦争に行かせるための子どもだよ！</p> <p>子宝部隊って書いてある!?</p> <p>笑顔だけど、悲しい未来が待っているね…</p> <p>国のためだけど、それって命を捨てること？</p> </div>	<p>●国民である「白戸さん一家」の写真を提示し「子宝部隊」という言葉に着目することで、育てる親の立場を問い、心情を揺さぶっていく。</p> <p>●国の「子どもは国の宝」という言葉に立ち返り、未来の戦力・労働力確保であったことをまとめる。</p>
<p style="text-align: center;">国は…『子どもは国の宝』=未来の戦力・労働力の確保</p>	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">子どもは国の宝といっても、全ては長期にわたる戦争のために、赤ちゃんコンクールを開催し、未来の戦力・労働力を確保していた。</p>	<p>●戦争体験者からのお話により子どもたちに追体験をさせ、時代について問うていく。</p>
<p>Nさんからのお話</p> <p>当時は、「国のため」に子どもを産むことがいいこととされていた。生活が苦しくても、立派な兵隊さんを育てることが名誉の時代だった。</p>	